

各校の主な情報（菅田中学校区）

資料 3

学校名	羽曳野市立菅田中学校
創立年月日	1 9 4 7 年
R 6 で何周年	7 8 周年
現在児童生徒数	3 3 9 名
創立当時の児童生徒数	5 7 9 名（S24卒109、S25卒146 S26卒324） （沿革史から創立から3年間の卒業生数を加算しまし
学校の主な取り組み （学校での地域行事も含む）	1 年生校外学習、2 年生スキー合宿 3 年生修学旅行 9 月最終土曜日に体育祭 土曜参観時に、校区清掃活動（PTAと協働） 秋に歌声の会 冬 Light Up KONDA 2020年～ 通年、車椅子募金活動および花いっぱいロスボス作戦 （残食をたい肥に変え、花を育て地域の保育園、幼稚園、小学校等に贈る）
校区の特徴	旧家集落と新興住宅街が混在した地域であったが、近年はどこも地域活動が定着している。 碓井と古市南に2か所の府営住宅を有し、経済的にも格差のある地域である。 学校敷地が世界遺産である応神天皇陵に接しており、また校区には竹ノ内街道と東高野街道という歴史街道が通り、子どもたちに募集した新制服のエンブレムにも、それらの歴史遺産が盛り込まれるなど、歴史を深いかかわりを持っている。 校区が広く、近鉄南大阪線の駅を3つ有する。

学校名	羽曳野市立古市小学校
創立年月日	1 8 7 3 年（明治6年）6 月 9 日
R 6 で何周年	1 5 1 周年
現在児童生徒数	3 8 5 名
創立当時の児童生徒数	1 4 4 名
学校の主な取り組み （学校での地域行事も含む）	本校では、一人ひとりの自尊感情と主体性を育てるとともに、互いのちがいを認め合い、助け合える仲間づくりをめざして、1 年生から6 年生が交流する古小まつりやキッズ交流会に取り組んでいます。また、6 年生では、校区に点在する古墳を班でめぐり地域の歴史を体験的に学習しています。
校区の特徴	本校は、近鉄南大阪線の古市駅北東に位置し、校区は古市、川向、菅田、碓井、栄町の5つの地域から成り立ち、南北に広がっている。古くは東高野街道と竹之内街道とが交差する交通の要衝の地であった。現在も近くに市民会館や市役所、羽曳野警察署などの公共施設や商業施設が多く羽曳野市の中心地であり、交通量の多い地域でもある。また、校区には、白鳥神社・菅田八幡宮があり、祭りが生活の中に位置づいている。

学校名	羽曳野市立 古市南小学校
創立年月日	昭和4 7 年 4 月 1 日 創立
R 6 で何周年	5 2 周年
現在児童生徒数	265名
創立当時の児童生徒数	691名
学校の主な取り組み （学校での地域行事も含む）	古南フェスティバル(地域行事)
校区の特徴	高屋城跡地に本学舎があり、校区内には古墳もあり歴史を感じられる地域である。また緑豊かな地域でもあるのも特徴である。住宅の再開発もあり、近年の児童数の減少は緩やかである。 昨年は、各地域やPTAが協力し、「古南フェスティバル」を久々に開催することができた。

創立当初より半数以上の児童生徒数減少

学校名	羽曳野市立駒ヶ谷小学校
創立年月日	明治6年10月19日
R 6 で何周年	151周年
現在児童生徒数	94名
創立当時の児童生徒数	6 0 人（明治7年時）
学校の主な取り組み （学校での地域行事も含む）	年間月1 回程度、1 ～6 年の縦割り活動を行っている。 また、班での活動を生かすために全校遠足に行っている。また、地元の方に協力していただきながら「河内ワイン」での工場見学やワイン作りを実施している。その他には、育成協が主催している1 ふれあいまつりがある。1 0 月末に実施しており、体験コーナーやゲームコーナーがある。
校区の特徴	校区内に広がるぶどう畑をはじめ、豊かな自然に囲まれた学校である。子どもたちにとって豊かな感受性や情操教育を育むには最適な環境だと考える。校区内を流れる石川や飛鳥川沿いに田畑がつけられ、山林も多く残っている。